

## 高い信頼性が求められる信金の業務システムを Dell Technologies 製品がトータルにサポート

2010年に導入したシンククライアントシステムの更改時期を迎えた巣鴨信用金庫は、高パフォーマンスで高拡張性を実現するシステムに移行するためにPowerEdgeサーバーをベースとしたシステムを構築した。



巣鴨信用金庫

金融

日本

### ビジネス課題

利用ユーザーの増加によるパフォーマンスの低下が課題となっていた巣鴨信用金庫では、新たなシンククライアントシステムに対して、パフォーマンスの向上はもちろん、将来を見据えた拡張性も求められていた。

### ソリューション

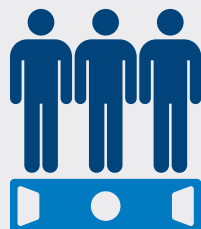
- ハードウェア
  - [Dell EMC PowerEdge 1Uラックマウントサーバー](#)
  - [Dell EMC SCシリーズ ストレージ](#)
  - [Dell EMC PowerVault NXシリーズ ストレージ](#)
  - [Dell EMC PowerSwitch Sシリーズ](#)
  - [Dell Wyse シンククライアント](#)
- サービス
  - [ProSupport Plus](#)

### 導入効果

- 朝夕のピーク時に発生していた画面遅延などを解消
- 拡張性の高いシステムに更改することによって、ユーザーが増加しても高いパフォーマンスを確保
- ストレスなく業務システムを扱えることによる情報共有・分析の推進
- 遅延やハード障害などのシンククライアントに関する問い合わせがなくなり、企画や開発に時間を割くことが可能に

物理 ユーザー  
1台 → 180

サーバーの物理性能がアップし、180ユーザーが快適に利用可能に



最短 3 営業日

利用者の急増による1サーバーへのアクセス集中にも、最短3営業日で新規サーバーを立ち上げ対応可能に



東京都豊島区に本店を置く巣鴨信用金庫は、東京都を中心に埼玉県や千葉県にも支店を構え、地域の顧客の発展を第一に考える姿勢を貫き、顧客を起点とした金融サービスを提供してきた。

2010年に、システムの更新やメンテナンスの手間を省き、セキュリティを確保するために仮想デスクトップによるシンクライアントシステムを構築したが、システムの老朽化によるパフォーマンスの低下という課題を抱え、システム更改に伴って新たな仮想化基盤を構築することを決断。そのためのハードウェアとしてPowerEdgeサーバーやSCシリーズ ストレージを採用し、クライアント端末としてWyseシンクライアントを利用している。

「老朽化したシンクライアントシステムを  
Dell Technologiesの機器を使った  
システムに更改することによって、  
パフォーマンスの課題を解決でき、  
ワークフロー改善やペーパーレス化など、  
さまざまな施策を行えるようになりました」

巣鴨信用金庫  
事務サポート部  
部長  
柳田 達夫 氏

## 既存システムに代わる 拡張性の高い業務システム基盤を 求める

地域の事業者や個人の顧客との連携を深め、販路拡大や海外進出の手助けを行うなど顧客の役に立つ活動に力を入れている巣鴨信用金庫では、「人に対する優しさや思いやりを心根に持つこと」をモットーとして、ホスピタリティを重視してきた。また、地域の顧客同士をつなぐ取り組みとして、4の付く営業日に本店3Fのホールでさまざまなイベントを行う「おもてなし処」や、年に2回のビジネスフェア「四の市」なども開催している。「地域のお客さまの活動をつなぐ一環として、2019年12月には縁の市というサイトを立ち上げ、地域事業者の皆さまをご紹介しています。私たちは、長い歴史の中で多くのお客さまに支えていただき今の姿があります。そのご恩に報いる活動として、お客さま同士がつながりあい、新たなご縁が生まれるお手伝いができたらと考えています」と巣鴨信用金庫 事務サポート部 部長の柳田達夫氏は説明する。

2010年に導入したシンクライアントシステムの更改時期を迎えた巣鴨信用金庫だが、導入目的について、柳田氏は次のように振り返る。「当時はクライアントPCを使って業務システムなどを活用していたのですが、PCの保守や故障対応などに手間がかかることが課題となっていました。そこで、シンクライアントシステムを導入し、保守メンテナンスの手間を削減し、セキュリティを確保しようと考えました」。

しかし、導入から5年以上が経過したシンクライアントシステムはパフォーマンスに課題があり、新たなシステムへと移行する必要があったと巣鴨信用金庫 事務サポート部 システム 係長の堀越裕一氏は説明する。「システム構築後、勤怠管理などのさまざまなシステムを追加で導入し、利用者も増えてきたため、想定よりも負荷がかかり、パフォーマンスが低下する原因となっていました。エンドユーザーからも、画面の遅延や、画面が固まるなどの問い合わせが増えてきている状態で、新たなシステムは、十分なパフォーマンスが確保でき、将来を見据えた拡張性が必要だと考えていました。また、具体的な計画はありませんが、将来的にクラウドを活用しようとしたときに、スムーズに移行できるアーキテクチャであることも前提条件でした」。

## 拡張性と信頼性の高さから Dell Technologies を採用

巣鴨信用金庫では、2010年のシンクライアントシステム構築当時から保守などをアセンテック株式会社に任せており、今回の新たなシンクライアントシステム構築に際しても、同社からの提案を採用している。「これまでアセンテックは、何か問題があったときにも迅速にレスポンスしてくれて、手厚いサポートを受けており、私たちとしてもパートナーとして心強い存在です」と柳田氏は説明する。

巣鴨信用金庫から相談を受けたアセンテック株式会社 第2営業部担当課長の佐藤優氏は、さまざまなメーカーのサーバーやストレージを比較していき、最終的にDell Technologies製品を採用した理由を次のように話してくれた。「パフォーマンスに課題があり、データの読み込みやログインが遅くなっているというお話をお聞きしていたので、新たなシンクライアントシステムを構築する前段階として、ファイルサーバーをリプレイスすることをご提案させていただきました。さまざまなメーカーの機器を比較していく中で、パフォーマンスを向上でき、コスト的にも優位だったのがDell Technologiesで、ストレージとしてPowerVault NXシリーズ ストレージ(NX3330)やSCシリーズ ストレージ(SCv2020)を採用しました。SSDを使ったストレージを採用することでボトルネックとなっていたリード性能を向上できると考えたことや、ストレージの自動階層化機能が使えることなども決め手となったと思います。新たなシンクライアントシステムも考慮に入れながらファイルサーバーを検討していったので、両方でDell Technologies製品を採用することで、サポート面でもメリットが高いと考えています」。

一方で、巣鴨信用金庫としては、以前の環境とメーカーが変わることについて、どのように感じていたのだろうか。「もともと、以前の環境でもシンクライアントとしてWyseシンクライアントを使って



おり、使い勝手がよく、故障もあまりなかったことから、信頼性のあるメーカーだというイメージは持っていました。アセンテックとDell Technologiesからの提案は、将来性や拡張性を考えても、柔軟に対応できる構成だと感じましたし、十分なパフォーマンスを確保できると思いました」と堀越氏は説明する。

また、堀越氏は、構築時の対応について、「PoC環境を提供してくれて、導入・構築時に想定外のことが発生してもすぐにリカバリしてくれました」と高く評価している。佐藤氏は、Dell Technologiesとともに質の高いサービスを提供することができたことを次のように説明している。「PoC環境を提供する際にも、Dell Technologiesは貸出機を提供してくれたので、検証後にスムーズに本番環境へと移行することができました。Dell TechnologiesのProSupport Plus(プロサポートプラス)を利用することで、問題が発生しても迅速に対応することができ、お客さまに対して安心感を持ってサポートや保守運用サービスを提供することができます」。

巣鴨信用金庫では、2016年に新たなアプリケーション仮想化型のシンクライアントシステムを構築し、サーバーとして7台の1UラックマウントのPowerEdgeサーバー(R630)、ストレージとしてPowerVault NXシリーズストレージ(NX3330)、SCシリーズストレージ(SCv2020)、スイッチとして2台のPowerSwitch Sシリーズ(S4820T)を導入し、業務アプリケーションなどを行内で活用している。

## パフォーマンス向上によって さまざまな効果が生まれる

新たなシンクライアントシステムを構築することによって、巣鴨信用金庫では、ストレスなく業務アプリケーションなどを扱うことができるようになったと柳田氏は説明する。「以前の環境に勤怠システムなどを入れてからは、朝夕のピーク時にパフォーマンスが低くなっていましたが、現在は画面の遅延などもなく、快適に利用できています。パフォーマンスに関する問い合わせなども大幅に減ったため、問合せの電話対応に取られていた時間を現在は企画や開発などの仕事に回すことができ、時間を有効利用することができるようになったのも、大きなメリットです」。

また、堀越氏も、拡張性が高いため、新たなシステムの追加や利用者増にも柔軟に対応できると話している。「これまでITシステムなどを使わずに業務していた人もシステムを使うようになり、ワークフローの改善やペーパーレス化のために追加でシステムを導入しているため、シンクライアントの利用者は徐々に増えてきています。導入当初の2016年には7台だったPowerEdgeサーバーを2019年には2台追加して拡張していますが、柔軟に拡張できることでパフォーマンスに影響を与えることがありません。以前の環境は拡張しづらく、1つの仮想サーバーを50人以上が利用するといった状態で、パフォーマンス低下の一因となっていたのですが、現在は1つの仮想サーバーを30人くらいで利用しています。負荷の増大に合わせて柔軟に拡張することができ、物理サーバーを1台増やせば、6つの仮想サーバーを増やすことができます。これにより、物理サーバー1台で180ユーザーが快適に利用可能になりました」。

「PowerEdgeサーバーやSCシリーズ  
ストレージを中心とした  
シンクライアントシステムに変えることで、  
安定した高いパフォーマンスを発揮でき、  
さまざまなIT施策を  
実現できるようになりました。

パフォーマンスに影響を与えることなく  
スムーズに拡張でき、  
利用ユーザーの増加にも対応できます」

巣鴨信用金庫  
事務サポート部 システム  
係長  
堀越 裕一氏

「Dell Technologies 製品を選択したのは、  
ストレージの自動階層化機能や  
バックアップ機能が有効だと考えたからです。  
また、コストメリットが高いことにより  
SSD が採用可能となる点も  
パフォーマンス改善を考えたときに  
重要なポイントでした」

アセンテック株式会社  
第2 営業部  
担当課長  
佐藤 優 氏



巣鴨信用金庫  
事務サポート部  
部長  
柳田 達夫 氏



巣鴨信用金庫  
事務サポート部 システム  
係長  
堀越 裕一 氏

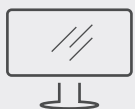
さらに、柳田氏は、ストレスなくシステムを利用できることによって、他システムとの連携や情報共有により効果が出てきていることを話してくれた。「勘定系の情報は Web オンラインシステムを使って情報系のクライアント端末で扱えるようにし、さまざまな施策に役立てることもできるようになりました。これまでは、高額な勘定系の専用端末で見られなかった情報を自席の Wyse などで見られるのは、情報活用の面でもコストの面でも大きなメリットとなっていると思います。また、以前は、日報などを入力するときに画面の遅延などが発生していたため、簡単なものしか書き込まない場合もあったのですが、パフォーマンスが向上することでしっかりと情報を入力してくれるようになったのも、大きなメリットの1つです。しっかりと情報がシステムに入力されることによって、これまでは営業店側から相談されたものに対して本部が対応するしかなかったのが、営業店が入力してくれた情報を本部で分析して、本部主導で課題を見つけて解決していけるようになっていきます」。

## さらなるシステム連携や 情報共有を果たしていきたい

新たなシンクライアントシステム構築を振り返って、堀越氏は、次のように話す。「システム更改後は、前述のようにストレスなく業務システムを利用することができ、使い勝手もよくなり、情報共有や時間の有効利用などよい効果が出てきています。仮想化基盤を今後も活用することによって、さらにワークフローの改善やペーパーレス化などを進めていかなければなりません。Dell Technologies の ProSupport Plus (プロサポートプラス) も役立っているのも、アセンテックと Dell Technologies には、今後も迅速で手厚いサポートを行ってくれることを期待したいですね」。

また、柳田氏は、今後の IT 活用について次のように話す。「我々は、店頭でタブレットなどを使っていますが、お客さまサービスに最新のテクノロジーを使い切れていないのが現状なので、さらに IT を活用した施策を考えていく必要があります。また、勘定系や情報系のさまざまなシステムがある中で、システム間の連携、情報の共有や分析などをもっと行えるようにする必要があります」。

地域に根差した金融機関として今後も活動を続けていく巣鴨信用金庫は、ホスピタリティを大事にしながら事業者や個人の相談に乗り、リアルなイベントを通じて人々をつなぐ一方で、IT を活用した情報共有や情報活用、業務改善などをさらに進めていく。



Dell EMC の  
サーバーソリューションの  
詳細はこちらから



専門スタッフへの  
お問い合わせ



お客様導入事例の一覧は  
こちらから



この記事共有する